

いのち♥きぼう♥未来 犯罪被害者週間全国大会2025

日時

11月29日(土) 13:00~17:30(開場12:30)

2025年 11月30日(日) 9:00~12:00(開場 8:30)



第1部「被害者の声」

深迫 祥子さん

(熊本、NPO法人 Coffee aid 2021、交通犯罪遺族)

塙越さん(群馬、伊勢崎飲酒死亡事故遺族2名)

渡邊 保さん

(神奈川、新全国犯罪被害者の会(新あすの会)、殺人事件遺族)

第2部「聴こう・語ろう・考えよう」

◆ グループ・トーク1

～すべての被害者のために
(どなたでも参加できます)

◆ グループ・トーク2

～子ども時代にきょうだいを亡くした人のために
(きょうだいのみ参加できます)

*いずれかを選択

懇親会:19時から

第3部 「参加しよう・やってみよう・ 話してみよう」

◆「天国とつながるお手紙展」
@Warm Heart Cafe

◆グリーフ・ワークショップ
～グリーフアートをやってみよう

◆癒しの音楽を聴こう

◆専門家と話そう

会場

トーセイホテル&セミナー幕張

千葉県習志野市茜浜2-3-2
(JR京葉線 新習志野駅から徒歩2分)

参加

第1部・第2部・第3部

無料(どなたでも参加できます)

右記のQRコード(もしくは下記URL)より申し込みください▶
<https://forms.gle/13RKQ83cD2rN2Ljs5>
(宿泊される方は11月10日までにお申し込みください)



懇親会

被害者は無料、その他の方は有料



heart-band
犯罪被害者団体ネットワーク

お問い合わせ

ホームページ

ハートバンド代表 井上保孝・郁美
heart.band.mirai@gmail.com
<http://www.heart-band.org>

「登壇者・専門家・アドバイザー」プロフィール

被害者の声

深迫 祥子さん／塚越さん／渡邊 保さん

専門家と話そう！

村上 典子さん／稻吉 久乃さん／内藤 秀男さん
小佐井 良太さん／赤田ちづるさん／南原 務さん



深迫 祥子

令和元年に配送トラックと焙煎所の壁に挟まれる事故で息子を亡くす。息子の遺志を継ぎ事故翌年、自宅横に夫婦でコーヒーショップを開店する。令和4年にNPO法人Coffee aid 2021を設立。講演会、事件事故の犯罪被害者支援の啓発、緩和ケア病棟でのコーヒー提供など、「命の大切さ」に関わる活動に取り組む。熊本県在住。



塚越

2024年5月6日に群馬県伊勢崎市で起きた事故の遺族。加害者は会社での運行前アルコールチェックを受けた後に飲酒し、大幅な速度超過で運転。中央分離帯を乗り越えて反対車線の被害車両2台を巻き込み、塚越正宏さん（当時53歳）、寛人さん（同26歳）、湊斗ちゃん（同2歳）を死亡させる。危険運転致死傷罪での公判開始を待つ。



渡邊 保

2000年10月、帰宅途中だった当時22歳の長女が殺害される。2006年8月事件後PTSDと診断されていた妻を事故で失う。「被害者が創る条例研究会」の会員、「犯罪被害者の会にじの会」の代表、「新全国犯罪被害者の会」（新あすの会）の副代表幹事としても活動。無期懲役で服役している加害者に対して、2023年12月から実施された心情等聴取・伝達制度を3回利用している。横浜市在住。



村上 典子

神戸赤十字病院心療内科部長。心療内科医としての診療を通して、グリーフケアに携わっている。遺族支援を考える研究者や実践家からなる「日本グリーフ＆ビリーフメント学会」の代表理事を務める。また「日本DMORT（災害死亡者家族支援チーム）」の理事長として、警察等とも連携している。神戸市在住。



稻吉 久乃

看護大学を卒業後、小児病棟で悪性腫瘍の子どもの看護にあたる。たくさんの亡くなる子どもたちを見送ることが辛くてバーンアウト。その後、保健師として地域住民の様々な相談に乗る保健センター勤務を経て、結核感染症の相談支援に当たる。筋肉の難病を発症するも、2008年中野区が新設した「犯罪被害者等相談支援窓口」に配属され、2021年から専任の非常勤職員となる。中野区在住。



内藤 秀男

前橋市でブリッジ法律事務所主宰。陸上自衛官から1992年に検察官に転身。東京地検・高検、福岡地検・高検等に勤務し、鹿児島地検検事正で定年退官。その後、犯罪被害者支援弁護士（主に国選被害者参加弁護士、法テラスの犯罪被害者支援弁護士）として活動中。



小佐井 良太

福岡大学法学部教授（法社会学）。犯罪・事件・事故等でかけがえのない人を喪った被害者遺族が経験する法や裁判の問題を幅広く研究している。飲酒運転や悪質・重大な交通事故に対する刑事処罰の問題、子どもの死亡事故をめぐる問題など、法と社会の課題や矛盾の解決に取り組んでいる。福岡市在住。



赤田ちづる

2003年、飲酒運転によるひき逃げで当時24歳の弟を亡くす。犯罪被害できょうだいを亡くしたきょうだいの会「葉の会」の代表を務めているほか、死因や関係性に問わず大切な人を亡くした人が集うことのできる場を関西地方で数多く開催している。現在は関西学院大学悲嘆と死別の研究センターで、遺族研究に取り組むとともに、遺族支援に携わる人の養成を行っている。兵庫県在住。



南原 務

新聞記者。1991年、読売新聞社に入り、青森、浦和支局を経て96年9月から社会部で法務・検察や政官財が絡む事件、震災等を取材。十数年、取材現場から離れていたが、犯罪被害者を巡る問題は私的に継続フォロー。「生命のメッセージ展in早稲田大学」のシンポで登壇も。「途切れないと支援を被害者と考える会（通称・中野勉強会）」や「にじの会」にも参加。文京区在住。

犯罪被害者団体ネットワーク ハートバンドとは

- ハートバンドは、犯罪被害者の権利保障と支援の充実という共通目的のために、犯罪の種別も内容も異なる全国の被害者団体が集う連合体です。全国大会開催をメインに、「ゆるやかな連携」を大切にして活動を続けています。2005年8月に全国17の被害者団体で発足し、2025年現在の構成団体は以下の通りです。
- 佐賀犯罪被害・交通事故被害者遺族の会
自助グループ「一歩の会」（佐賀）
 - NPO法人 いのちのミュージアム（東京）
 - 飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・
関係者全国連絡協議会（共同代表：北海道・大分）
 - NPO法人 犯罪被害当事者ネットワーク
緒あしす（愛知）
 - 風通信舎（兵庫）
 - （一社）関東交通犯罪遺族の会（あいの会）（東京）
 - 高速暴走・危険運転被害者の会（栃木）
 - NPO法人 KENTO（奈良）
 - NPO法人 交通事故後遺障害者家族の会（東京）
 - 交通事故調書の開示と公正な裁きを求める会（神奈川）
 - （一社）交通事故被害者家族ネットワーク（東京）
 - 葉の会～お兄ちゃん・お姉ちゃん・妹・そして弟～
（兵庫）
 - 自助グループ「ジュピター」（神奈川）
 - TAV交通死被害者の会（大阪）
 - はがくれ（佐賀）
 - 被害者支援を創る会（東京）
 - ～犯罪被害者支援～ひだまりの会 okinawa
（沖縄）
 - 宮城交通事故 ハナミズキの会（宮城）
 - 北海道交通事故被害者の会（北海道）
 - 鹿児島犯罪被害者自助グループ「南の風」（鹿児島）



このチラシは公益財団法人矯正協会刑務作業協力事業部の助成を受けて作成しました。